

2023 いほん 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	56%	44%	0%	基準に基づいたスペースを確保している
	②	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	適切に加配している
	③	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	適切である
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	全職員が周知できるよう定期的に会議を行っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	アンケート調査を実施しその結果を踏まえ保護者の意見・意向を取り入れ業務改善に取り組んでいる
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	ホームページなどで適時・適切に公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	78%	22%	0%	第三者による外部評価については今後検討予定
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	78%	22%	0%	定期的に外部研修に参加しその都度全職員へ伝達研修を行っている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	アセスメントを行いケース会議を重ねた上で計画を作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	67%	33%	0%	アセスメントシートを活用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	78%	22%	0%	全職員で意見を出し合い発案・検討・実行している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	89%	11%	0%	毎月新しい活動を取り入れている。既存の活動も個々の発達・成長に合わせ工夫している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	季節ごとのイベント開催や活動時間に合わせて取り組めるプログラムを立案している

⑭	子どもの状況に応じて、個別支援と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	モニタリングや個別支援会議などの話し合いを基に個々に合わせた計画を作成している
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われている支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	申し送りの時間を設けて当日の支援内容や役割分担を確認している
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	67%	33%	0%	送迎後の申し送りを含め支援の振り返りを行い情報を共有している
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	業務日誌・療育（レク）ノート・相談記録票などに記録している。保護者に報告し、打ち合わせを行っている

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	年2回モニタリングを行い支援計画の見直しをしている	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	67%	22%	11%	全職員の総則の周知徹底を目指す	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしき者が参画しているか	89%	11%	0%	多方面の参画を促す
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	送迎時に申し送りを行いメール等で情報共有し迅速に対応している
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	78%	22%	0%	有事における連絡体制は整えている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	67%	33%	0%	適切に行っている
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	78%	22%	0%	情報提供体制は整っている	

	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	89%	11%	0%	連携体制を整え 必要に応じて助言や研修を受けている
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	33%	56%	11%	コロナ禍のため進められていないが地域の行事に参加している
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	33%	67%	0%	担当者が参加している
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	100%	0%	0%	連絡ノートを活用し 送迎時やコミュニケーションツール等を通じて 共通理解に努めている
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	56%	44%	0%	ペアレントトレーニング等の支援が適切に行われるよう努めていく
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時に行っている
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	事業所はいつでも開放し 連絡ノートやコミュニケーションツール等で応じている
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	33%	56%	11%	毎年親子参加型のイベントを開催しているが 今年度はコロナ禍のため少人数でしか行えていない
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	苦情があった場合は 速やかに上司に報告し 適切な対応の体制を整えている。苦情報告書に記載している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	78%	22%	0%	季節ごとに発行し保護者へ配布している。野外活動など活動によってはその都度予定表を配布している
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	書類は鍵書庫にて保管し、個人情報の取扱いについては周知している
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	特性に合う対応を心掛け 不安のないようにしている

	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33%	56%	11%	企画はあるがコロナ禍のため頓挫している
非常時等の対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に通知しているか	100%	0%	0%	マニュアルの整備進んでいる。 保護者には書面でお知らせするなど周知徹底に努める
	㉒	非常火災の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	月に一度行っている
	㉓	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	78%	11%	11%	内部研修で周知している
	㉔	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	67%	33%	0%	記載したうえで保護者に説明し 身体拘束について職員で話し合い周知している
	㉕	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	100%	0%	0%	対象の児童については医師の指示所に従い対応している
	㉖	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	記録し会議などで共有している